



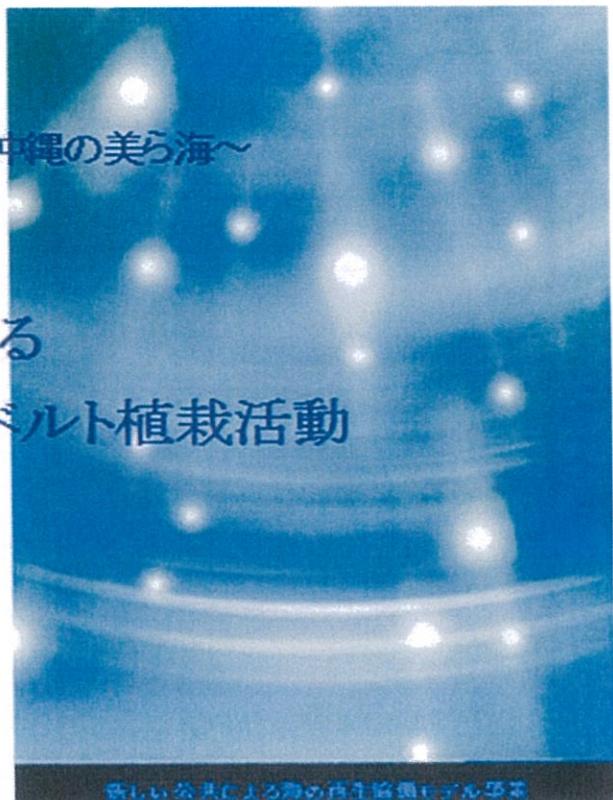
発表者の写真

～未来へ残そう沖縄の美ら海～
－協働による沖縄の海を守るグリーンベルト植栽活動－
沖縄グリーンベルト推進協議会 設立準備室
スタッフ 西原 隆



～未来へ残そう沖縄の美ら海～

協働による
沖縄の海を守る
グリーンベルト植栽活動



(協)沖縄県農林水産部 沖縄グリーンベルト推進事務局

新しい公共による海の再生プロジェクト

スライド1

この事業は平成23年度に県水産課の事業として平成23年度に実施しました。水産課が陸上に上がって、赤土流出防止対策を行ったということです。

1. 新しい公共による海の再生協働モデル事業



● 事業の背景

各機關等が多面的な対策を講じているが、現時点では海への赤土等流出が目覚しく改善できていない状況ではない。

事業の目的

人々や団体・企業などが目標を共有し、共に力を合わせて活動する。

『協働』により

『グリーンベルト植栽活動』などの赤土等流出防止対策をみんなが参加・実施する仕組みづくりの構築をし…

効果的に持続性のある

沖縄の海の保全と

畠の土壤保全の強化

を目指します。

スライド2

赤土流出が目覚ましく改善されている状況にはないだろうということでスタートしたものです。

農家だけに負担を強いいるのではなく、協働で解決していくこうということが趣旨です。

持続性と海の保全、畠の土壤保全の強化を目指していくものです。

2. 平成23年度事業実施体制



沖縄県農林水産部水産課 農務課
事業主体

本部町環境保全協議会 地域組織設立

本部漁協 JA本部支店 桃光漁会 地元NPO 商工会

生活協同組合 コープおきなわ (株)大洋 エーアンドエフ 町教育委員会 町区長会 県水産課

本部漁協・JAなど地域を中心に協議会委員10名

専門的なアドバイス

県栽培漁業センター 海洋博覧会 管理財団 県衛生環境研究所 東北部農林水産振興センター 県水産業改良普及センター

生活協同組合 コープおきなわ 町役場 産業振興課

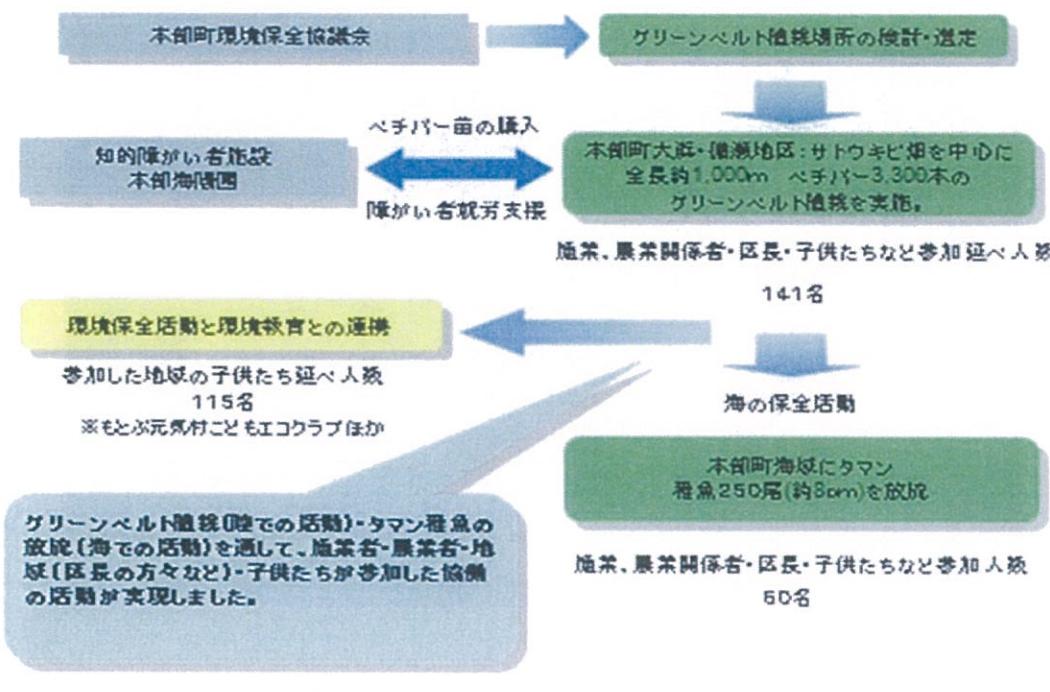
アドバイザーとして県栽培漁業センター他5名

スライド3

本部町を中心に協議会形式で実施した。漁協やJAなど一緒に話し合う場を設けました。

また、専門家も必要だろうとのことで、栽培漁業センターや県衛生環境研究所にも入ってもらいました。

3. 平成23年度事業実施概要



スライド4

場所は協議会として大浜・備瀬地区のサトウキビ畑を中心に選定してもらいました。

陸域へのグリーンベルト植栽を漁業、農業関係者、区長、子供たち141名で開催しました。

また、海の保全活動として、タマン稚魚250尾を漁業・農業関係者など60名で放流しました。

参加した子供たちには海洋博管理財団からエコクーポン券（海洋博への入場無料券）を配布しました。